

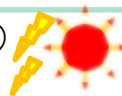
貼付剤による光線過敏症

光線過敏症とは、日光アレルギーとよばれ日光によって引き起こされる免疫反応による症状です。原因として最も多いものが、**薬剤性光線過敏症**です。薬剤性光線過敏症の症状としては、**痒みやかぶれ、発赤、発疹**がみられます。塗り薬や貼り薬などの外用剤を用いた部位に日光が当たることによって発症した場合を**接触性皮膚炎**といい、内服薬を服用後に日光が当たることによって痒みやかぶれ、発赤、発疹がみられた場合は**光過敏型発疹**といいます。上記のとおり、薬剤性光線過敏症の原因として内服薬と外用剤の2つのタイプがありますが、今回は、外用剤に着目し予防法や治療法について広く知っていただけるよう情報をまとめましたので、ご覧下さい。

<症状>



化学的因子(薬剤) + 物理的因子(光線)



光線過敏症 (photosensitive diseases)

光過敏型発疹(内服)

接触性皮膚炎(貼付)

痒みや赤らみ等の一般的な貼付剤症状に加え、接触性皮膚炎が副作用として報告されている貼付剤にどのようなものがあるか当院採用の貼付剤について主な副作用を一覧にしました。

商品名	成分名	副作用(承認時報告値)
MS温シップ「タイホウ」	サリチル酸メチル D1-カンフル トウガラシエキス	過敏症(発赤・発疹など)、試験未実行のため頻度不明
セルタッチパップ70	フェルビナク	発疹・そう痒感:0.44%、発赤:0.40%、 <u>接触性皮膚炎:0.34%</u> (再審査終了時値)
アドフィードパップ40mg	フルルビプロフェン	そう痒感:1.16%、発赤:1.12%、発疹:0.54% (再審査終了時値)
モーラステープ20mg・L40mg	ケトプロフェン	発赤:0.78%、発疹:0.95%、そう痒感:1.56%、 <u>接触性皮膚炎:4.67%</u>
ロキソニンテープ100mg	ロキソプロフェン ナトリウム水和物	そう痒:2.10%、紅斑:1.50%、 <u>接触性皮膚炎:1.40%</u> (テープでの試験は未実施のため数値はパップ剤のもの)
フェントステープ1mg/枚・4mg/枚	フェンタニルクエン酸塩(麻薬)	傾眠:12.6%、悪心:11.6%、嘔吐:10.4%、便秘9.90%
デュロテップMTパッチ 2.1mg・4.2mg・8.4mg/枚	フェンタニル(麻薬)	傾眠:23.3%、嘔気:19.8%、嘔吐:10.5%、便秘14.0%
フランドルテープ40mg/枚	硝酸イソソルビド	<u>接触性皮膚炎:5.15%</u> 、頭痛:0.98%、血圧低下:0.19% (再審査終了時)
ツロブテロールテープ 0.5mg・1mg・2mg「HMT」	ツロブテロール	使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない
ソフラチュール貼付剤10cm	フラジオマイシン 硫酸塩	使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない

<治療>

異常が現れたら貼付剤の**使用を中止**し、患部を**遮光**する
皮疹部には比較的**強力なステロイド外用剤**を用いる
顔面近辺は**マイルドなステロイド**を使用する
痒み強い場合には、**抗ヒスタミン剤**を服用する
症状が強い場合や皮疹が全身に拡大する場合には、**プレドニゾロン**などの**ステロイドの内服**あるいは点滴静注などを行う

- **ステロイド剤**
ベリーストロング(ネリゾナユニバーサルクリーム0.1%など)
ストロング (エクラーローション、リンデロンVG軟膏など)
マイルド (ロコイドクリーム、オイラックスHなど)
- **抗ヒスタミン剤**
(ザイザル、レスタミン、エピナスチン塩酸塩、フェキソフェナジン塩酸塩など)
- **ステロイド+抗ヒスタミン剤**
(セレスタミン)
- **ステロイド+抗生物質**
(テラコートリル軟膏)
- **ステロイド+抗ヒスタミン**
(強力レスタミンコーチゾン軟膏)

<予防策>

貼付部の**遮光**を十分に行う

- ・衣類やサポーター、日焼け止め*の利用
- ・貼付時だけではなく、貼付剤をはがした後も薬効はのこるため
約4週間は遮光を行う



初期症状をチェック

- ・そう痒感、刺激感、紅斑などが現れたら使用を中止、または皮膚科を受診する

市販の日焼け止めには、**SPF**(UVBを守る指標)と**PA**(UVAを守る指標)があり、光線過敏症の物理的要因としては一般にUVAであるため、**PA**を選択してください。PA+++のように、+の数が多ほど保護効果が強いとされています。
また、光線過敏症の原因となる成分としてオキシベンジンがあります。オキシベンジンは日焼け止めにも含まれているため 商品を選ぶときは適切な選択が必要です。



光線過敏症は、誰でも起こりうる可能性のある症状です。使用している患者さんの副作用チェックや皆様のセルフメディケーションに役立たせることができればと思います。

<参考文献>

厚生労働省医薬品食品局 医薬品・医療機器安全性情報 No. 276(平成23年1月)

添付文書・インタビューフォーム MS温パップ「タイホウ」

添付文書・インタビューフォーム セルタッチパップ70

添付文書・インタビューフォーム アドフィードパップ40mg

添付文書・インタビューフォーム モーラステープ20mg・L40mg

添付文書・インタビューフォーム ロキシニンテープ100mg

添付文書・インタビューフォーム フェントステープ1mg/枚・4mg/枚

添付文書・インタビューフォーム デュロテップMT/パッチ2.1mg・4.2mg・8.4mg・16.8mg/枚

添付文書・インタビューフォーム フランドルテープ40mg/枚

添付文書・インタビューフォーム ツロプテロールテープ0.5mg・1mg・2mg「HMT」

添付文書・インタビューフォーム ソフラチュール貼付剤10cm

薬剤部

薬学実習生
指導薬剤師

西園 香里
岸本 真